

世界の映画史上燦然と輝く
ドイツの伝説の映画監督
レニ・リーフェンシュタールの秘書

ドイツで活躍する 通訳・翻訳家の 梶島則子さん(駒19)

かばしま のりこ



レニが書いた「回想」を翻訳したのが梶島則子さん。1978年ドイツ人と結婚以来30年近くミュンヘンに在住。このほど一時帰国された梶島さんに駒場高校時代のこと、レニの秘書として彼女と深く関わった興味深いお話などをお聞かせいただいた。

駒場松桜会会報

第80号

2007年4月1日発行
財団法人 駒場松桜会
都立駒場高校同窓会
〒153-0044
東京都目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内
電話 03-3466-7579
振替番号
00190-8-28586

―駒場高校へ入学された動機は
駒場はとても優秀な学校で家
も近くでしたので、当時は女生
徒が全体の3分の2で、伸び伸
びとした良い環境で、私として
は一番幸せな時代でした。
―クラブ活動や当時の学校生活
で印象に残っていることは
短期間ですが卓球部にいまし
た。安保の時代で、若者同士手
を組もうという風潮が強く放課
後に皆で輪になってバレーボー
ルをしたり、スケートに行つた
り、帰宅後はビートルズをステ
レオのセイヤングで聴いてから
勉強していました。団塊の世代
で生徒数も多く、教室はギチギ
チでした。高橋先生、館野先生、
楢木先生にお世話になりました。
受験を控えた3年生時代は
忙しいばかりでしたが1、2年
生の時はクラスがよくまとまっ
ていて、とても仲がよく、楽し
い高校生活でした。
―第一印象深かったのは伝統の
コチロンです。運動会では第三
の卒業生の方々が着物をお召し
になって踊られ、とても良い雰
囲気でしたね。フォークダンス
が盛んで、体育の時間や学園祭
で踊りました。もし私が日本に
住んでいたら、いまでもコチロ



レニと私 サン・サルバドル島にて

ンの講習会に通ったのではない
かと思います。仰光寮も懐かし
いですね。卒業の翌年にクラ
ス会で使わせて頂いたのが初め
で、その後、時々桜と仰光寮を
見に参りました。
―駒場から慶応義塾大学に進ま
れた梶島さんとレニさんとの出
会いは
大学卒業後、ミュンヘン大学
への留学を経て、慶應の修士
課程に在籍中の1977年に、
テレビ朝日の依頼でレニ・リー
フェンシュタールが初めて来日
しました。私はその制作会社で
翻訳のアルバイトをしていまし
たが、通訳の方が急病のためピ
ンチヒッターで通訳を努めたの
が始まりでした。彼女は日本人
をオリンピックで見ても、とても
神秘的だと気に入っていました
し、私がドイツ文学を専攻して
いたことや、丁度自らの回想を
書こうとしていたところだった
ため、資料整理の手伝いをして
欲しいということもあったので
す。1978年にドイツ人学者
と結婚してミュンヘンに行った
翌年、秘書になりました。

彼女が監督をしたナチス党大会
記録映画「意思の勝利」はナチ
を賛美するあまりにも優れた映
画でした。ヒトラーに心酔して
しまう危険な映画だということ
で、後に3年間も拘置所に入れ
られ、ナチの同調者というレッ
テルを貼られたため、映画界へ
の復帰は出来ませんでした。
そんなレニに関わって一番楽
しかったのは、天才が物を作る
(次ページへ)



ヒトラーとレニ

―レニさんといえばヒトラーが
彼女の大ファンで、濃い付き合
いがあったわけですが、そうい
うレニさんのこと、その後の梶
島さんとの関係は
彼女との普段の会話の中に、
ヒトラーやゲッペルスが「おじ
さん」「お兄さん」という感じ
でしばしば登場するので、とて
も不思議な気がしました。ヒト
ラーの演説を聴き、魂が揺さぶ
られるような感動を受けたレニ
はヒトラーから直接記録映画を
製作するよう依頼を受けました。



ミュンヘンの中心部を走るカウフィンガー通り

プロセスを側で観ることが出来たことです。エネルギーを完全に集中させるということと、どんなに叩かれても負けずに這い上がるということです。彼女は映画の世界で生きられなくなったら写真家として復活し、71歳の時に年齢を偽ってスキューバダイビングのライセンスを取得、100歳まで海に潜って写真を撮り続けました。90歳でコンピューターに挑戦し、罵ったり頭痛を起こして倒れたりしながら、最後にはマスターしてしまい、凄いいました。

と自伝「回想」(文芸春秋)を翻訳しました。彼女の人生を紹介する写真集「レニ・ライフ」では文章を書き、レニについて執筆したエッセイはぜひぶんの数となります。

という訳で、ほとんどレニ関係ですが、レニ以外では、唯一自分で独自のドイツ語の教科書「ミュンヘン留学」を作りました。23万部くらい売れました。

「レニさんのお仕事を辞められてから、どんな生活をなさっているのですか」

結婚して子供が出来るまでの7年間はレニの仕事をし、その後は通訳、翻訳、コーディネーター等をしてきました。エッセイも随分書きました。ペビーシッターを雇って一般の通訳もしました。子供が2歳半になった時に自宅で出来る翻訳に取りかかりました。子供の成長とともに仕事を増やし、完全に復帰したのですが、ニューヨークでの9.11同時多発テロの後、通訳の仕事が来なくなり、フリーランスの立場は弱いなあと思うくらい実感しました。仕事を通じて日本語の美しさを改めて感じています。私は日本語ほど美しい言葉は無いと思っています。

「今はお料理にも凝っていらっしゃるようですが」

日本は料理のレベルでは世界一だと思いません。最初、主人はお豆腐を「虚無の固まりだ。いくらつついても何も無い」と言

い、お醤油をかける食べ方を教えても、「味が独立していない」と言っていました。今は大好きです。納豆も好きになりましたし、「親と子が殺されて入れられている」と表現した親子丼も大好きにさせました。日本料理が素晴らしいので、ドイツでは簡単な和食を作っただけで誉められます。日本は本当に素晴らしい国ですね。だんだん望郷の念が強くなり、ますます日本が良くなってきますね。



ご自宅の居間で

「お話を伺っていますと、梶島さんは人生を本当に楽しく生きていらっしゃいますね」

始めから凄いい人生を生きようと思っていたわけではなく、平凡に好きなことをやろう、通訳になりたいと思っています。留学から慶応の大学院に戻った時は大学に残りたかったのですが、結婚もしたかったし、それで結婚を選び通訳にもなれて、エッセイも書いて翻訳本も出したし、子供にも恵まれ、このくらいで良かったと思っています。振り返ってみますと女性の理

想は良妻賢母、女性の役割は仕事をやる男性のよき伴侶を務めることと言われていた価値観が学生運動で一変し、日本も欧米並みに女性も重要な職務をまかされるようになり、男性中心社会から開放されていくプロセスと受け止めて、私たちは喝采を叫んだものです。20世紀の初頭に生まれたレニが、私たちの世代には女性開放の先駆者のようにまぶしいものでした。

「6月の総会では、丁度卒業40周年に当たる梶島さんの駒19と39の同期会がありますよ」

今年は3月の中旬に家族で日本に帰国しますので、私だけ残り、6月2日の総会にはぜひ参加したいと思えます。クラスメー

新入会員の紹介



駒59-保 笠原 万倫子

問題児と言われ続けていた私たちでもここまで成長することができたのは、どんな時でも熱心に指導して下さった先生方、私たち後輩に怒ったりすることなく自分たちの行動で様々なことを教えて下さった先輩方、私たちを下から支えてくれた後輩、毎日家に帰ると優しく迎えてくれる父、母のお蔭であり、感謝の気持ちで一杯です。

これからは今までの仲間と離れ、新しい環境で生活していかなければなりません。辛くなった時、苦しくなった時、この学校で過ごしてきたことを思い出し、駒場高校の卒業生だということを誇りに思い、過ごしていきたいです。



「レニ・ライフ」共著(求龍堂)
「ミュンヘン留学」(同学社)

写真集「ヌバ」(パルコ出版)
自伝「回想」(文芸春秋社)

著書

「今日は楽しいお話をありがとうございました」

トに再会出来ると思うと今からわくわくしてしまいます。

同窓生 spirit

駒場の友情に生まれ 山谷 えり子 (駒21)



プロフィール
 聖心女子大学文学部卒・出版社に入社、渡米・テレビ番組レポーター・政府広報番組キャスター・中央児童福祉審議会委員・東京都社会教育委員・衆議院議員などを歴任
 現在 参議院議員 内閣総理大臣補佐官
 教育再生担当 教育再生会議担当室事務局長兼任

水泳が好きだった私は、魅力的なプールがあり水泳部が強いという理由で、駒場高校を志望したのですが、3年間を個性輝く友人たちに恵まれ、学校の勉強だけでなく、小説や哲学書や政治の書を読み合いながら教養を大切に、社会性と行動力ある人間の育成を尊ぶ雰囲気によって過ごせた幸せをもったいなく感じています。

幼い頃は新聞記者の娘として、父の友人たちの天下国家を論じる声とマージャンの音の子守唄のように聞きながら育ち、その影響でしようかジャーナリストを目指し、「生活情報新聞」の編集長となりました。同時にテレビ活動の方も忙しくなり、片手にペン、片手にマイクで朝から夜中まで休日もとらずに書き続け、走り続ける日々を過ごしていました。これは水泳で鍛えた体力あればこそだったと思います。

記者の夫と結婚し、三児を育てながら、人々の声を政府や議員に届ける中で、政治家にならないかと言われるようになりました。このお薦めには悩みました。というのも、父が衆議院選挙に出馬して落選。借金をかかえて故郷の福井から上京し、母は過労から一時失明したことがあったからです。悩みに悩み、それでも

具体的に世の中を変える最後の場所は立法と予算づくりの場である国会との思いが強く、反対する夫を説き伏せて立候補。最初の選挙では落選し、以来当選、落選、当選を通してヤマ越え、タニ越えの中で多くのことを学びました。

現在、安倍内閣のもとで総理補佐官として働いています。官邸機能を強化し、スピードをもって国民の期待に応えるため五人の補佐官が任命されましたが、私は教育再生を担当しています。「チーム安倍」「安倍レンジャー」などとマスコミからニックネームをつけていただいたためか注目度も高く、それだけに結果を出していかなければと身を引き締めています。

毎朝自宅から執務室に向かう途中、駒場高校付近を通ります。通学路に友人や恩師の40年前の笑顔を見るような思いがいたします。お転婆で未熟な私を面白がり、励まし続けてくれた夫は、3年半前交通事故で亡くなりました。それでも夫婦とは有難いもので、今も変わらず私をそばで励まし続けてくれている気がします。比翼の鳥、連理の枝とはこのことかとやっとわかりました。「ヒヨクノトリ」「レンリノエダ」と駒場高校で習った単語を理解するのに40年かかったわけです。

どうぞご参加を◆**コチロンを踊る会** 毎月第3火曜日(除く8月・12月)午後2時~4時 母校生徒ホール
 ※上履を必ずご用意ください 4/5・5/10・6/7・7/5・9/6・10/4・11/1・12/6・1/10・2/7・3/6午後2時~4時 駒場幼稚園ホール



駒59-1 峰岸 渉

駒場高校での3年間は非常に早く過ぎていき、そして充実した3年間でした。日々勉強や部活、そしてあらゆる生活の場面から多くのことを経験し、吸収することができました。この素晴らしい3年間を決して忘れることはできません。

皆それぞれが部活に取り組み、また勉学に励むことで学校生活にメリハリができました。その中で、体育祭や文化祭の学校行事のときは全員で盛り上げ、全員で一つのものを作



駒59-3 市原 千晶

私は新しくできる友達に高校自慢をしないわけにはいかないと思います。それだけ駒場を誇りに思える高校生活を送ってきました。

授業の雰囲気、行事への取り組み方、部活への熱の入れ方、学年が上がるにつれて変わってきた生活。しかし、文武両道の精神だけは変わらないのだと実感しました。やるべき時は驚くべき集中力で取り組み、楽しむ時は思う存分楽しむといった駒場ならではの生活は、毎日新しい刺激を与えてくれました。

ひとつのものを大勢で作りに越えるからこそ得られる達成感や協調性。駒場にはそれらを得るチャ

り上げていくという良い雰囲気学校を満たしていたと思います。自分はサッカー部に所属し、毎日のように練習や試合に没頭しました。そんな厳しい状況のもと、サッカーのみならずそれ以外においても多くのことを学びました。

そして、たくさんのおよび仲間に出会いました。つらく苦しい思いを分かち合い、共に楽しんだ仲間たちはきっとこれからも良き財産となり、また誇りとなっていくと思います。これから新しい環境の中での生活となりますが、駒場で学んだ多くのことを決して忘れることなく、成長し続けるように頑張っていきたいと思っています。

ンスがたくさんあると思います。全員が声を張り上げて完全燃焼する体育祭。ゼ口から始めるにもかかわらず、多くの人に感動を与えた都駒祭。私の場合行事が好きというよりも行事の度に全員が熱くなる駒場生が好きと言った方が正しいかもしれません。

駒場で得たものの中で一番だと思えるのは友達です。私の所属していた、女テニスの仲間たちをはじめ、多くの人々と触れ合うことが出来ました。辛いときは支え合い、励まし合い、楽しいときは分かち合い、本気で向き合える。そんなかけがいのない存在を見つけたのだと思います。

駒59として得た経験はこれからの人生において大きな糧になると思います。3年間で培ってきた文武両道の精神を崩すことなく、一歩一歩確実に自分を成長させていきたいと思っています。

本年度から総会をリニューアル 装いも新たに「松桜会同窓の集い」がスタート

財団法人駒場松桜会では昨年度の第2世紀突入を機に、「一人と人を繋ぐこと」をめざして組織とその活動の改革に乗り出しました。100周年からは待望の松桜会講座が始まり、この「松桜会会報」も昨年4月の第78号からオールカラー化を実現させ、企画面や文字の大きさなど数々の刷新を行い、多くの会員の皆様から好評をいただいております。毎年春には総会にあわせて講演会やお花見・お茶会などを開催しております。この集まりを、幅広い世代の会員の方々による有意義な会合になるよう改革したいと検討まいりました。前号「組織部だより」ではその概要をお知らせしましたが、いよいよ本年度から実施いたします。名称も「松桜会同窓の集い」とし、母校校内見学会や総会のと、趣向を凝らした懇親会をこまばエミナース・ダイヤモンドの間で開催いたします。第三から駒場まで幅広い卒業生が一同に集まる交流の場になることが目的ですが、毎年卒業後40年と20年の節目を迎える学年を幹事学年とし、この同窓の集いの企画と実行をお願いすることにしました。

今年初の第1回は駒場第19回と39回の方が担当されます。なお校内見学会は今年3月卒業の新会員の皆様にご案内いたします。皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

同窓会開催にあたり

岩永(旧姓:酒井)百合(駒39)



昨年11月のある朝、小川碧先生から大変懐かしいお電話を頂きました。駒場卒業後は、年賀状のご挨拶だけでご無沙汰しておりました。その小川先生からのお電話に「何かしら?」と思い、お話を伺いますと、何と私達、駒39回生は2007年に高校卒業後20年を迎えるとのこと。

当の本人は全くそんなことは忘れておりました。そこで、幹事学年として同窓の集いに関わってもらえないかとのことで、急遽、私もお手伝いさせて頂き運びとなりました。今でも親交のある同期の数名の方には、すぐ同期会開催の連絡を致しました。また、私の娘が通う小学校の先生の中に見覚えのある顔がありました。同期の松本(旧姓:原田)陽子さんが娘の通う小学校で先生をなさっています。偶然の再会です。勿論、娘を通してご案内しました。とはいえ、このように直接連絡出来る方はほんの一部です。松桜会名簿に現住所のお届けがない方もかなりの人数になります。もし皆さんがそれぞれ連絡のつく方に松桜会同窓の集い参加のお誘いをして下さったらより多くの方にお集まり頂けるのではないかと思います。家庭や仕事、そして社会人の一人として今一番忙しい世代だと存じますが、土曜の午後のひとときは是非懐かしい顔ぶれの中でお過ごし頂けたらと思います。どうぞ一人でも多くの方がお集まり下さいませよう、ご案内致します。



この20年

櫻井 重之(駒39)

駒場高校を卒業して20年が経つ。我々が卒業した年度である1986年の前後にかけては日本がバブル経済に突入したとされる時期である。つくば科学万博、日航機墜落事故、ダイアナ妃来日、相撲は千代の富士全盛時代、阪神タイガースの優勝と初の日本一、首相は中曽根康弘。米国大統領はレーガン。ソ連はゴルバチョフ書記長。流行語を拾うと新人類、金妻、ボディコン。おニャン子クラブ、ハレー彗星。卒業して大学に入り社会人となる1990年代はじめはそのバブルの崩壊で経済は低迷を極めてその後の失われた10年といわれる時期を経験する。振り返ると社会的にいろいろな出来事があった。でも変わらないのは駒場高校で多感な年頃に3年間を過ごし、そこで多くの恩師、友人、知人、先輩を得たという事実である。いまでも一年に2度、地方から帰省する友人に合わせて数名で集まるようにしている。もう何年続いているだろうか。集まっては自分の近況を話したり、昔話を花を咲かせたり、たわいもない数時間なのであるが、自分の中では駒場時代に気持ちを戻してリフレッシュできる貴重な半年に一度の恒例行事である。来年はいよいよ不惑となる。40年も経つといろいろな人生の辛酸をなめることもある。社会の中心的役割として、家庭、会社、地域においてその役割がクローズアップされている。それぞれの場所での責任とその重圧もかなりのものである。でも駒場があるかぎり決して私は1人ではない。駒場にいた20年前の気持ちに戻ってまた日々邁進するのみである。最後にこのことばをいつも胸に秘めて。



"Good friends are like stars... you don't always see them, but you know they are always there."

(順不同)

氏名	出欠	担当教科	在籍年	メッセージ
細野 重陽先生	欠席	校長	5年	高血圧症以外は病無く、楽しく畑仕事などやっています。段々進学成績向上しているようで、それが嬉しいですね。
磯村 克夫先生	出席	社会	8年	退職し、学生のような生活をしています。週末は長野へ行っていることが多いのですが出席するつもりです。
菱刈 隆永先生	出席	日本史	26年	1999年にめぐり会った「菱刈文書」の解説をすすめ、我が家のルーツ調べに夢中です。
百済 琢也先生	欠席	数学	12年	成人病と仲良くしていますが、介護の必要はありません。
佐藤 光一先生	出席	保健体育	15年	都立東村山高校にて都重点支援校の指定を受け、教育改革に頑張っております。
長谷川(新巻)操子先生	欠席	日本史	9年	昨年から富士高校に勤務しています。
佐藤 潔先生	欠席	英語	12年	現役教師もあと2年となります。駒場のあのゆったりとした暖かい雰囲気が懐かしく思い出されます。
長谷川 賢先生	欠席	世界史	15年	都立神代高校校長をしています。14年間勤めた駒場は私にとって胸がキュンとなる永遠に懐かしい学校です。
安井 元久先生	欠席	国語	11年	数年前から腰が直角に近く曲がってしまい、各方面の皆様には大変失礼いたしております。
小川 碧先生	出席	英語	32年	松桜会の活動に微力ながらお手伝いをしています。担任をした学年の方とお話が出来るのも嬉しいことです。

平成19年度 松桜会同窓の集い

6/2(土)

- 日時:平成19年6月2日(土)
午後2時30分～5時(受付2時)
総会 2時30分～2時50分
懇親会 3時00分～5時00分(パーティー形式)
校内見学 1時00分～(母校正面玄関)

●こまばエミナース ダイヤモンドの間

●会費:5000円(未成年2000円)

当日受付でもお支払いいただけますが、できれば会報同封の振込用紙でお振込みいただければ幸いです。

なお、先生方のご招待致します。

・同封の出欠はがきは早めにお出し下さい。(4月末日まで)



卒業40周年、いざ集まらん!

駒19(コマトーク)の仲間達

深澤 正利(駒19)



昭和42年3月、私達は19期生として駒場高校を巣立ちました。それから幾星霜、時の流れとは早い(恐ろしい?)もので四十年という歳月が経ちました。かつてお互いに胸をときめかした(?)美少女・美少年も、今では立派な熟女・熟年となりました。すうりとした可愛げな女の子が貫禄十分のオバサマとなり、長髪を風になびかせていた少年が地肌

に直接雨を感じるオジサマとなっていたりもしています。同期会などでお会いしても、「あらま!」と驚く位に見事に変貌されている方や、「何で?」と羨ましい程に昔と変わらぬ方など、姿形は本当に様々ではあります。しかしながら、どの方からも過ぎてきた年月の重み・人生の年輪といったものを一様に感じられ、やはり長い時が経っているのだなあとつくづく思い知らされます。私達は故河合先生の要望で、卒業二十五周年に同期会を開きました。それからは毎年春に開催し、すでに十五回を数え、延べにして同期生の半分以上の方に出席いただき、旧交を温めあってきました。その間、最初に出席していただいた河合先生・岩淵先生・片野先生がお亡くなりになり、また榎木先生・川村先生・山口先生もお亡くなりになりました。同期生の中でも何人かの方が亡くなられるという悲しい出来事もありました。それでも私達は毎年集ま

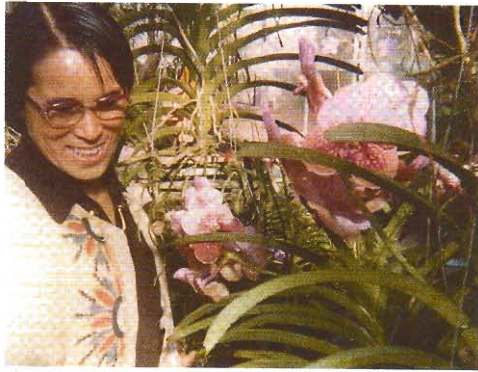


ることにより、単に旧交を温めあうだけでなく、あらためてクラス会を開いたり、復活した仲間同士で旅行に行ったり、或いは同期会で初めて言葉を交わしてから仲良くなったりと、同期の輪を広げてくる事が出来ました。そしていよいよ今年は卒業四十周年という記念すべき年となった次第です。万年幹事の小生としても、何か心に残る様な会にしたいと思っていたのですが何と!松桜会のパーティー形式による

記念すべき第一回目の松桜会同窓の集いの核として、私達が幹事学年になったのです。同期生のみならず、懐かしい先生方・怖かった(?)先輩方や可愛かった(?)後輩達を交えての大パーティーというわけですね。小生思わず「駒19(コマトーク)の皆サン方よ、これは参加しない手はありませんぜ!」と手を打ちました。総会に先立って、可愛い今年の卒業生の案内による校内見学会も行われ、変貌を遂げた校舎・施設や懐かしい仰光寮なども見ることが出来ます。今まで参加・協力してきて頂いた方々にも、また劣等生・問題児・嫌われ者の小生が幹事をしている限り、出席なんかしてやんないよと思っていた方々にも、今年は十分に楽しんで頂けると思いますので、是非是非ご出席くださるようお願い致します。姿形は変わっていても(?)、会ってしまえば気持ちは高校生。心にセーラー服・学生服を着込んで、いざ集まらん!

●駒場19回・39回生関係の先生方の近況

氏名	出欠	担当教科	在籍年	メッセージ
小野 啓一先生	出席	物理		平成19年3月に成瀬高校の嘱託を退職しました。
井上 文孝先生	欠席	保健体育	8年	昨年3月大正大学退職。70歳になりましたが、元気に過ごしています
高橋 智子先生	欠席	音楽	13年	10年程前に教職を退き、何とか元気に一人暮らしをしています
鐘野喜代治先生	欠席	数学	6年	皆様のご健康を祈ります
織田 久男先生	欠席	音楽	20年	
多胡 忠治先生	出席	理科	6年	3年前に退職。現在新宿高校勤務です。
緑川日出子先生	欠席	英語	13年	現在、昭和女子大学大学院文学研究科言語コミュニケーション専攻教授をしています。
朝倉 淑子先生	出席	国語	14年	
藤枝 忠終先生	欠席	化学	18年	



小貫房枝先生 逝く

平成18年7月22日に長年にわたり保健体育科でご指導くださった小貫房枝先生が亡くなりました。

9月2日にこまばエミナースにて先生を偲ぶ会が開かれ、多くの方々が集い、黙祷の後、在りし日の先生の懐かしいお話や先生との思い出などを語り合い、皆で先生を偲びました。

また、松桜会へご遺志により多大なご寄付を頂きました。

先生の菩提寺は真宗 西善寺

(東京都文京区向丘1-13-8 ☎03-3811-0472) です。

ほんの一月前までご一緒に出かけ、食事をしていただいたのに急逝された。任意後見人、遺言執行人に指名されていたものの先の先のことと思っていたので、正直困惑した。今になって思うと先生の氣遣いが死期を早めたと思わざるを得ない。晩年の先生は周りの方々に迷惑を掛けたくない、お世話になった方々にお礼をしたいの一心であった。特に駒場高校、松桜会、保体科への思いは格別であった。そのことは遺産の大半を松桜会と保体科同好会に寄付されたことにも表れている。しかし、先生が本当に残したかったものはお金ではなく、駒場を思う「心」であった。と確信している。

小貫先生が残されたもの

平島 満(駒12)



小貫先生を偲んで

及川 栄子(駒7)

私にとっての小貫先生への思いは、体操競技部の顧問としての厳しいご指導に始まり、自由と自主性を尊ぶ駒場の校風に、力強く慈愛に満ちた教育に対する寛容な姿勢でご指導頂きました。個人的には、恩師という枠を越えて沢山の思い出を頂くことができ、長年にわたる私のキャリアの礎となりました。

駒場時代、昭和27年の音体部(体操競技部)の練習場は、木造の兵舎跡を改装した狭い講堂でした。平均台で倒立すると足先が天井に触れてしまう練習環境の中で、小貫先生のご尽力により、平行棒が校庭に設置された時の感動は忘れられません。様々な競技大会に向けて三箇日以外、毎日練習に明け暮れていた頃が懐かしく思い出されます。

日本体操協会の理事として全日本体操競技選手権大会などの競技審判員として精力的に活動され、昭和39年、東京オリンピックに於いて、体操競技で日本女子を第3位に導いたのは、小貫先生のご尽力の最大の成果であります。女子専任コーチとして関わってきた者として、指導者として多くのことを体得させて頂きました。

また、知的障害者のスポーツ

指導についてご相談した際、「子供たちと向き合って自分の出来ることを一生懸命おやりなさい」とお言葉を頂き、先生の真実を見抜く力と見識の深さに敬服いたしました。

私の人生の師である小貫先生に心からご冥福をお祈り申し上げます。



小貫先生とコチロン

高橋 陽子(駒7)

小貫先生はいつも明るくお元気でした。ごく自然にそうであったというより、「教え子には常に明るく元気な姿を見せたい」という体育教師の確固たる信念に基づくものだったのだと思います。だから、大病をなさっても、ごく限られた人にしか明かさず療養なさり、私たちコチロンを踊る会の前に見える時は

「コチロンが踊れるって最高！」と笑顔で言われます。

そして、小貫先生はコチロンが大好きでいらつしやいました。コチロンの話題になると目が輝き、真剣に取り組みました。百周年記念のコチロン大会開催が決まると、年代によって微妙に異なる踊り方を修正・統一したいと、合宿の提案をなさったのも先生でした。先生のご紹介による八ヶ岳ふもとの民宿に30名近くが参集し、午前・午後・夜間(9時頃迄)と、全員で話し合い、踊ってみて、基準となる踊り方を作り上げたのも楽しい思い出です。

この合宿はその後参加者が少しずつ増え、現在は武蔵嵐山の国立女性教育会館という絶好の場を得て毎秋行われております。小貫先生にとって、コチロンはただ楽しい踊りというだけではない、もつと深いものであったと思われまます。百年近い歴史を持つ第三高女伝統の踊りを石川キクノ先生から受け継いで、自分の代で絶やしてはいけない、そんな使命感のようなものをお持ちだったように感じました。幸いにも先生からは、コチロンの映像化(DVD)にもご寄付をいただき、次代へ接ぐ足がかりにもなっています。これからもコチロンを踊り続け、若い世代にも輪を拡げてゆきたいと考えております。

特別講演会

「未来を拓く
あなたたちへ」

阿部幸子氏(駒4)



平成18年12月20日、母校駒場高校第2アリーナで、PTA・学校

が主催する1、2年生を対象にした特別講演会が開催されました。講師は同窓生の阿部幸子氏(駒4)で、長く教育に携わってこられた豊富な経験をふまえて、いつの世も「しなやかに、したたかに生きる」をモットーに、どのような困難、苦境に遭っても、それをのりこえる強さと、他人にやさしくできる優しさを持ち、苦しみを消化して前進することのできるエネルギーに変えていけるような人になってほしいというメッセージをいただきました。そして社会人となって大切なものはコミュニケーション能力と人間性であり、学生時代は感性、知性を育てていくことが重要で、勉強だけではなく大いにいろいろな経験を積んでいってくださいというものでした。また大学での教え子が書いた本も紹介していただき、生徒達に大変心に残るお話でした。

元青山学院大学短期大学 学長
同短期大学名誉教授
現在は大学婦人協会副会長

都 駒 祭

2006.9.17~18

例年通り、お休み処には講座の様子を紹介した展示や写真を並べました。新講座の鎌倉散策では高齢にもかかわらず、皆様お元気で名所旧跡を訪ねた様子が楽しく見られました。コチロンの映像化が実現し、DVDを流し踊れる場所を作りました。

仰光景では篆書講座の個性あふれる受講生の力作を展示し、講師塩小路氏(駒12)との懇親会では、文字に対する興味深いお話に時のたつのも忘れませんでした。

和室の雰囲気
気に簡素に
作った掛け軸
がとても似
合っており好評
でした。



母校生徒の活躍

(1月30日現在)

男子バスケットボール部

ウィンターカップ

東京都高等学校大会6位

女子バレーボール部

全国マドンナ・ビーチバレー
ジュニア選手権出場

器械体操部

国民体育大会(東京都代表)
市原 雄一郎(315)

陸上競技部

東京都高等学校新人大会
(関東新人大会出場)

女子 走り幅跳び
2位 石川 愛里(2保)

走り高跳び
1位(関東大会3位)
長 明日香(2保)

4x100mリレー
2位(関東大会8位)

水泳部

東京都高等学校新人大会

男子 100m自由形
100mバタフライ

400mリレー
200mメドレーリレー

女子 50m自由形
200m個人メドレー

200mメドレーリレー
400mリレー

男子総合 第3位
女子総合 第6位

駒場フィッハーモニーオーケストラ部

平成19年度
全国高等学校総合文化祭
(高根県) 出場決定

百人一首部

全国高等学校総合文化祭

東京都チーム優勝
全国高等学校小倉百人一首かる
た選手権大会

個人戦 B級3位
C級準優勝・3位
D級優勝・準優勝

関東地区小倉百人一首
かるた大会(関東大会)

読手の部 最優秀賞・優良賞

学年会報告

駒場3回生

平成18年10月24日(火) 原宿の水交会で5年ぶりに学年会が開かれました。先生5名(高橋、高山、菱刈、山中、横山(長谷川))のご出席を頂き同期生75名が集まりました。故人になられた先生・友人に黙祷の後、横山先生のご発声で再開を祝して乾杯。会食をしながら少女時代にタイムスリップ。談笑の輪が花開き賑やかでした。先生方それぞれの含著あるお話に続き、児嶋・木村(剣持)両氏のご指導で懐かしいコーラスに酔いました。皆さん生き生きとお元気で、すっかり若返った気分でお名残惜しみながら再会を約し、散会となりました。(早川)

駒26同期会報告

11月4日(土) 品川プリンスホテルにおいて、駒26の同期会が開かれました。卒業以来初めてという事もあり、200名近い方が参加してくださり、また9名の先生方にもご出席いただくことができました。同期有志が制作の駒場の今と昔を紹介したスライドショーや在校中にNHKで放送された学園祭風景のDVDを上映し、懐かしい光景に歓声をあげながら、一気に高校時代に戻ったような和気藹々の楽しい会になりました。会場には展示コーナーが設けられ、色々な分野での同期生の活躍を紹介する著作や作品を間近に見ることもできました。最後に4年後に次回同期会を開くことを決め、再会を楽しみに散会しました。(高島)

同期会開催のお知らせ

駒14 紫陽花会

駒14の有志の集まりです。初めての方、大歓迎。

日時 6月30日(土) 12時

場所 楽園菜館

目黒区鷹番1丁目216

Tei 03379312271

会費 6,000円

連絡先 安中みな(2H)

Tei 03371012877

訃報

石川 博朗 先生

平成18年8月7日死去

吉田 元定 先生

平成18年10月 死去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

第21回 「合唱曲集を歌う会」

- 2007年5月12日(土) 13:00~
- 駒場幼稚園にて
(スリッパ持参のこと)
- 係:新井 (03-5701-0194)
- 鈴木 (03-3414-9723)

平成19年度(上期)松桜会講座のお知らせ

- ◎対象者 駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員
- ◎申し込み方法 往復はがきで〒153-0044目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内松桜会事務局宛
1講座、1枚のハガキでお願いします(返信ハガキにはご自分の住所もお書き下さい)
講座名、住所、電話、氏名、(会員は卒業年度、教職員は所属名、PTA会員はご子弟の氏名・学年・クラス)をお書きください。
- ◎受講料 各講座に記載の金額を第1回の出席時にお支払い下さい。

4/16
締め切り

A 講座 漢詩鑑賞Ⅲ

●講師 安居 總子(駒4)

内容 今回は白楽天を取りあげます。唐代の詩人の中で現存する詩が最も多いだけでなく、わが国平安朝の人々にこよなく愛されたのは白楽天の詩でした。「売炭翁」「長恨歌」「琵琶行」を味わいたいと考えています。

略歴 東京教育大学文学部漢文専攻卒 中学校国語教師35年、岐阜大学・大正大学教授。
現在も国語教育の中道をめざし、後進の育成、指導など活躍している。

受講料 2500円、テキスト代1000円。

定員 40名

日時 4/28(土)、5/12(土)、5/26(土)、6/9(土)、7/7(土)
13:30~15:00

会場 203教室

B 講座 知られざる篆刻の秘密と実習

●講師 塩小路 光孚(駒12)

内容 篆刻は篆書の理想的な形を表現できるものとされ、文人一体化して特別な力がもたされるとされます。実際には篆書一字とお名前の中から一字を選んで二顆の印を作っていただきます。

略歴 菅原道真公38代末裔 菅家塩小路篆刻道家元、菅家塩小路流書道家元。幼少より家伝を学ぶ。「氣をよぶ字」ほか著書多数。日本ペンクラブ会員。

受講料 2000円、教材費2300円、テキスト代1000円。

定員 40名

日時 5/21(月)、6/18(月)、7/17(火)、8/20(月) 10:30~12:30

会場 東館和室

C 講座 撮影現場…ぜったいに美しく撮る…

●講師 リウ・ミセキ(旧姓 劉美碩)(駒16)

内容 美しくなければ意味がない、しかし美しいだけでは意味がないという写真哲学で撮り続けてきたリウ・ミセキがリアルな撮影の現場やその制作過程、喜怒哀楽の裏話などを実際の写真を示しながらお話しします。撮影のテクニックやライティングといった実践講座も行われ、最終回には自身の素敵なお葬式写真の制作も予定しています。
カメラを持参する必要はありません。

略歴 東京写真大学(現工芸大学)技術科を卒業後アメリカへ遊学。出版コマース写真界で活動後、写真作家へと転進。日本写真協会会員、上海華僑撮影協会名誉会員。

受講料 2500円

定員 25名

日時 5/12(土)、6/16(土)、6/30(土)、7/14(土)、8/18(土)
13:30~15:00

会場 社会科室

D 講座 武士道を考える

●講師 谷口 真子(駒30)

内容 武士道といえば「葉隠」や新渡戸稲造の「武士道」がうかびますが、明治以降の歴史をひもとくと、武士道精神や赤穂「義士」礼賛はナショナリズムと戦争を鼓舞するプロパガンダとして利用された側面があることに気づきます。本講座では江戸時代の喧嘩と敵討をとりあげ、実践された武士道と観念化された武士道の違いを述べ、現代的課題として武士道を考えてみたいと思います。

略歴 文学博士(早稲田大学)、早稲田大学講師(非常勤)2002年、日本歴史学会賞受賞。
著書に「近世社会と法規範—身分・名誉・実力行使」、「赤穂浪士の実像」など。

受講料 2000円、テキスト代1500円(予定)

定員 45名

日時 7/21(土)、7/28(土)、8/4(土)、8/11(土) 10:40~12:00

会場 203教室

松桜会コンサートのお知らせ

平成19年12月1日(土)
東京オペラシティ リサイタルホール
ソプラノ 村上 雅英(駒19)
共演者 ヴィオラ・ダ・ガンバ 品川 聖
チェンバロ 寺村 朋子

メディチ家からブルボン王朝へ
~17、8世紀イタリア、フランスの音楽~

- 曲目
- 1. ベーリ 「エウリディーチェ」より
 - G. カッチーニ なんと幸せな日
 - P. ゲドロン ではあの空に輝く妙なものは
 - E. ムリニエ 我が仲間
 - F. クープラン 暗闇のルソン 他